

< プログラム >

[第 1 部]

ファンファーレとプロセッション
序曲「アルヴァマー」
マーチ・エイプリル・メイ
メヌエット (フルート独奏: 小松まさき)
飛行の幻想

小長谷 宗一
J. バーンズ
矢部 政男
ビゼー
R. シェルドン

※※休憩 (10分) ※※

[第 2 部]

f f [フォルティシモ]
ルパン三世のテーマ
大きな玉ねぎの下で～はるかなる想い
サウンド・オブ・ミュージック・メドレー

ハウンド・ドッグ
爆風スラング
R. ロジャース
編曲 岩井直博

未来予想図Ⅱ ～花束贈呈～
エロティカ・セブン

ドリームズ・カム・トゥルー
サザンオールスターズ

※※休憩 (10分) ※※

[第 3 部]

(OBのステージ)
力強い序曲
パリの空の下で
ランナー
(生徒・OBの合同ステージ)
ロマネスク
プラス・フィーバー

J. バーンズ
編曲 H. ワルターズ
J. スウェアリンジェン
J. カカヴァス

出演メンバー

Flute/Piccolo

小松まさき (3)
江口奈々 (2)
蓼沼亜也子 (1)
山下智子 (1)

Clarinet

相関幸恵 (3)
佐々木洋美 (3)
平田真弓 (3)
平尾理恵 (2)
紀野国陽子 (2)
黒瀬三帆子 (1)
鈴木幸絵 (1)
仲秋実佳 (1)

Saxophone

前川 葵 (3)
服部有希 (2)
永井美紀 (1)

Horn

岩野裕輔 (3)
大屋佳子 (2)
奥島カヨ (1)
竹中 望 (1)

Trumpet

相沢 瞳 (3)
矢沢名奈子 (3)
相沢 恵 (1)
小山直子 (1)

Trombone

千葉奈緒美 (3)
小林睦子 (1)
高橋佳代子 (1)

Euphonium

金岩祐介 (3)
末永和子 (1)

Tuba

小林慶子 (3)
中溝哲夫 (1)

Contrabass

田中絢子 (1)
矢作祥子 (1)

Percussion

佐藤由香理 (3)
高橋里枝 (3)
阿部いづみ (1)
根岸栄子 (1)

21st Regular Concert

川口市立芝中学校吹奏楽部第21回定期演奏会



日時 平成6年4月2日(土)
開場13:00 開演13:30
会場 蕨市民会館大ホール

第21回定期演奏会おめでとう

川口市立芝中学校長 伊藤 勇

第21回定期演奏会が開かれたことに、心から祝意と敬意を表します。

吹奏楽部の21年の歩みは、回を重ねることに磨きがかかり、先輩諸氏の協力のもとに、学校行事、地域の行事、コンクールへの参加等、継続的に貴重な活動を行って、今日を迎えております。

これも、部員一人ひとりの、並々ならぬ努力と自覚によって、ささえられて来たものであります。

芝中吹奏楽部のOB・OGの方々、保護者の会等支援していただく皆様にも、心より感謝申し上げます。

日頃の練習で培った力を出し切って、演奏させていただきます。ご期待ください。

本日の演奏会が、芝中吹奏楽部の一層の発展のために、大きな力となることと信じます。

創部以来今日まで、本校吹奏楽部関係の方々の多くのご支援ご協力に、深甚なる感謝を申し上げ、ご挨拶いたします。

定期演奏会を迎えて

吹奏楽部部长 江口 奈々

本日は、お忙しい中芝中学校プラスバンド部定期演奏会にお越し頂きましてありがとうございます。今日の日の為に、部員全員が全力を尽くして練習にのぞんで来ました。

この演奏会で3年生と演奏できるのも最後なので、私たちにとても、そして今日ご来場の方々にとても、思いで深いひとときとなるように、一曲一曲心をこめて演奏したいと思います。

どうぞ最後までごゆっくりお聞きください。

ごあいさつ

吹奏楽部顧問 五月 女保幸

本日は芝中学校吹奏楽部第21回定期演奏会においでくださりありがとうございます。こうして演奏会が開けますのは、保護者の皆様、諸先生方、地域の方々のご理解ご協力によるものと生徒ともども感謝しております。

本年度の芝中吹奏楽部は総勢36名と小人数ではありますが、一人一人の生徒が一生懸命練習や準備に取り組み今日の日を迎えました。また3年生にとっては最後のステージとなります。

演奏の未熟さにはどうか目をつぶっていただき、心のこもった拍手をいただけるとうれしいに思います。

《曲目角解説》

『ファンファーレとプロセッショナル』

小長谷宗一さんが作曲したこの曲は、始めホルンとユーホニウムの迫力ある旋律で始まります。途中からクラリネットが旋律となりなめらかに流れるようなメロディーとなっています。始めの曲にふさわしく、心がはずむようなこのファンファーレとプロセッショナルを選びました。全体的に、軽くはずむような感じのリズムでできています。

『序曲「アルヴァマー」』

この曲は、夏のコンクールの時に演奏した曲です。

夏の暑い日に、毎日練習するのはつらい時もありましたが、主旋律がとても乗りやすい曲なので、部員全員が気に入っている曲です。

James Barnesが作曲したこの曲は、流れるような美しいメロディーや、とても迫力のある力強いメロディーが、出てくるので、演奏者にも聞く人もあきることがなく、とても味わい深い曲です。

『マーチ・エイプリル・メイ』

寒くなった冬が終りを告げ、3月、4月、5月と、気候がだんだん良くなってくると人々は進んで家の外に出たくなります。公園などの木の葉も緑に色づき、その木陰では休日となると、町の音楽愛好家がそれぞれの楽器を持ち寄り楽しそうに演奏したりしています。楽器を吹かない人もその場にいるだけでなぜか、心うきうきしてくるものです。そんな情景を思い浮かべながら作られた曲だそうです。

『メヌエット』

ビゼー作曲のこの曲は宮廷的とも女性的ともいえるニュアンスをたたえている曲です。伴奏のピアノ（ハーブの代わり）とフルートの独奏に始まり、次第に他の楽器を加えて音の変化と厚みを増し、やがて主旋律であるフルートの独奏とピアノのアンサンブルになり静かに美しく終わる曲です。全体に流れるような旋律は聞く人々を夢見心地にさせずにはおきません。

『飛行の幻想』の解説

オーストラリアの作曲家ロバート・シュルдонは、フロリダ州生まれでありマイアミ大学とフロリダ大学に学び、1980年からフロリダ州ブラデントン町のサウスイースト高校のバンド、ディレクターをつとめる。そしてこの曲はつい最近できたものです。木管楽器は透明に流れるような旋律で、金管楽器は迫力のある旋律をやっています。おもにトランペットが目立ち、とても印象深い曲です。

『「I」 [フォルティシモ]』

この曲は何年か前に流行したハウンド・ドックの代表作の一つです。作詞者が松尾由記夫さん、作曲者が長輪卓志さんです。曲自体のテンポののりもよく歌詞の方も男の人の前向きな精神が表れていて、とても力強い感じの曲です。歌詞に“あふれる思いをあきらめない”とあるように私たちプラスバンド部在校生は夏にあるコンクールで賞を取ることを諦めず精一杯、練習していきたいと思っています。

ノリの良い曲なので歌詞をご存知の方は是非一緒に口ずさんで下さい。

『ルパン三世のテーマ』

この曲は、映画、テレビアニメの主題歌で有名になった『ルパン三世』のテーマ曲です。これを聞くだけでルパンの活躍ぶりが目に浮かぶようですね。途中でSaxのアドリブがあります。とてもかっこいいので聞いてみて下さい。全体的にのりがよく、迫力のある曲なので、一見聞いていると難しいように聞こえますがとても簡単で覚えやすい曲なので皆さん楽しんで聞いてみて下さい。

『大きな玉ねぎの下で 〜はるかなる想い〜』

曲名をきいただけでは、この曲の本当の意味はわからないと思います。この歌に出てくる一組の男女はお互いのことをよく知らない紙面上での恋人にすぎない男女です。この彼氏は彼女に会いたいために、彼女にコンサートのチケットを送ります。コンサート当日、彼女は会場に現れませんでした。彼は、彼女とみるはずだったコンサートを独り哀しく見ました。会場を飛び出した彼の瞳に映ったのは、水面に映える大きなおおきな玉ねぎでした。ユーモラスな曲名に隠された、彼の遥かなる想いを感じとって下さい。

『サウンド オブ ミュージック』

不朽の傑作ミュージカル『サウンド オブ ミュージック』は、「ドレミの歌」、「エーデルワイス」を始めとして、広い年齢層にわたっていつまでも愛され、歌いつがれている名曲を世に送り出しました。その中から、テーマの「サウンド オブ ミュージック」と「ドレミの歌」「一人ぼっちの羊飼ひ」「さようなら、ごきげんよう」「エーデルワイス」「すべての山にのぼろう」のメドレーです。美しく澄みわたったアルプスの山麓が目につかぶようです。

『エロティカ・セブン』

この曲は、ドラマ「悪魔のKISS」の主題歌『エロティカ・セブン』です。この曲は、みなさんが観しみやすく、よく知っている曲なので、すぐのりやすい曲だと思います。そして、この曲は、最初から最後まで、すごく明るくて弾むようなリズムの曲なので、みなさんが聞いていてもすごく楽しくてのりやすい曲だと思います。みなさんも曲に合わせて、手拍子を打って下さい。

『力強い序曲』

原題はオーパチュア・エネルギーコ。その名前の通り元気にあふれ輝かしい曲です。行進曲的なきびきびとした旋律と、歌のような美しい旋律とで構成され、曲の中央部ではバロック音楽のように対位法的に発展します。作曲は第1部に演奏された序曲「アルヴァマー」と同じアメリカの作曲家、バーンズです。

『パリの空の下で』

フランスの美しい曲で、映画でも有名です。ワルツのテンポにのって低音のクラリネットやサクソフォーンでしゃれた雰囲気をかもしだしながら進みます。編曲はアメリカの作曲家で美しい旋律を数多く持つ吹奏楽曲をたくさん残してくれたハロルド・ワルターズです。

『ランナー』

個性派ロックグループ、爆風スランプが1988年に発表したアルバム《ハイランダー》に収められた曲。この編曲では中間部でクラシカルなアンサンブルの部分が出てきます。

『ロマネスク』

この曲は1982年アメリカで作られた曲です。この曲は、全体的にとってもゆったりしたテンポの曲で始めの出だし、全パートが奏でる和音や旋律が、聴く人の心を落ち着かせてくれる様な感じですが、

静かに演奏される所や、盛り上げて演奏される所などが、より一層この曲を引き立てます。フルートだけのメロディーや旋律も作曲者の気持ちなが表れている様でとてもきれいです。今回はOBの方々も加わって演奏するので、みなさん聞いてください。

『Brass Fever』

この曲はジョン・カカバスが作曲した作品です。この曲は主にトランペットが旋律で全体的に華やかでテンポも意外と速く、明るい感じの曲です。そして低音と高音がとてもよくきれいにはもっています。

パーカッションが生み出すリズムもこの曲のおもしろさなどを引き立てていると思います。